

平成27年度事業報告(27.4~28.3)

1. 総会<法人会計>

- 27.06.17 第5回通常総会において、平成26年度事業報告及び収支決算(監査報告含)、平成27年度事業計画及び収支予算を提案、審議の結果各々提案通り可決。引き続いて創立50周年記念式典及び記念講演会を開催。

演題:「人生は今日が始まり」

講師:ヒューマンスキル研究所所長 田中 真澄 氏

2. 理事会<法人会計>

- 27.05.13 第5回通常総会の議題及び創立50周年記念式典の開催について、①第5回通常総会のご案内・議題・記念式典・講演会、②平成26年度事業報告及び収支決算(監査報告含)、について審議の結果承認。報告事項として、眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、組織活性化委員会報告、「認定眼鏡士」の商標登録について、平成26年度広報部事業計画、会員数及び認定眼鏡士登録者数、今後の会議日程について、各々報告。

- 27.10.21 審議事項として、①平成27年度上期の事業報告並びに上期決算報告について審議の結果承認。報告事項として、①眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、②日本眼鏡士連盟の活動と収支状況、③平成27年度PR事業について、④組織活性化特別委員会報告、⑤その他:創立50周年記念事業収支報告、「認定眼鏡士®」登録商標の権利行使について、国際部報告、日眼協の大規模災害支援機構構築委員会報告、会員数並びに認定眼鏡士登録者数、今後の会議日程、について、各々報告。

- 28.03.02 審議事項として、①平成28年度事業計画並びに収支予算について、②平成28年度生涯教育の実施について、③平成28年度PR事業について、各々審議の結果承認。

報告事項として、①眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、②組織活性化委員会報告、③会員数並びに認定眼鏡士登録者数、今後の会議日程、日眼協の大規模災害支援システム構築委員会について、各々報告。

3. 正副会長・部長会議<法人会計>

- 27.05.13 理事会に提案する第5回通常総会の議題及び創立50周年記念式典等について協議。

- 27.06.17 第5回通常総会並びに創立50周年記念式典の運営について協議。

- 27.10.21 理事会に提案する平成27年度上期の事業報告並びに上期決算報告を中心とした議題について協議。

- 28.03.02 理事会に提案する平成28年度事業計画並びに収支予算を中心とする議題について協議。

4. 教育関連事業<公1、公2、公4>

- 27.05.30 会員及び会員外認定眼鏡士に対し、教育特集号送付

- 27.06.18 生涯教育講習会について、講師会メンバーによるリハーサルを実施

- 27.07.01~ 生涯教育、実技講習会開催

28.03.31 (受講者総数7,971名)

①生涯教育 41支部36会場:受講者数 2,027名

②実技講習会 21支部21会場:受講者数 400名

③通信講座 受講者数 1,987名

- ④その他認定講習会：各眼鏡専門学校主催オープンセミナー、各支部主催講習会、I O F Tセミナー、他：受講者数 3, 557名
- 27.07.27～07.29 SSS 級認定眼鏡士試験のための講習会 1会場（キクチ眼鏡専門学校）で開催：受講人数（36科目・12名）
- 27.08.19 SS 級認定眼鏡士学科試験実施 5会場（東京、愛知、大阪、岡山、滋賀）：受験者数122名
- 27.08.25～09.01 SS 級認定眼鏡士実技試験実施 5会場（東京、愛知、大阪、岡山、滋賀）：受験者数118名
- 27.09.01～02 SSS 級認定眼鏡士認定試験実施 2会場（東京眼鏡専門学校、キクチ眼鏡専門学校）：受験科目数・受験者数延べ（49科目・20名）
- 27.09.08 SSS 級認定眼鏡士認定試験合否判定会議
：科目合格数・人数延べ（22科目・12名）
全7科目合格者数 1名（累計26名）
- 27.09.15 SSS 級認定眼鏡士試験結果通知を発送
- 27.09.30 SS 級認定眼鏡士試験合否判定会議
：学科全5科目合格者数 37名
実技全3科目合格者数 44名
学科・実技全8科目合格者数 39名（SS 級登録資格取得者）
- 27.10.08 SS 級認定眼鏡士試験結果通知を発送
- 27.12.16 講師会を開催（教育全般の実績報告と反省点、次年度テーマの検討）
- 28.02.24 講師会を開催（平成28年度生涯教育テキストの内容検討）

5. 組織強化関連事業

5-1. 認定眼鏡士登録更新事業<公1>

27.04～28.03 認定眼鏡士新規登録証、更新登録証の発送

5-2. 支部助成金、ブロック会議<法人会計>

- 27.04.07 中国ブロック会議：於岡山市（眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向、青年部・女性部の活動報告、27年度普及啓蒙活動等について意見交換。支部活動報告他。会議に引き続きイオンモール岡山の見学会を実施し、コンセプトの違う眼鏡店4店舗を視察。）
- 27.05.25 各支部に対して支部助成金を送金
- 27.06.24 東京・関東ブロック会議：於横浜市（生涯教育・実技講習会の運営、眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向について意見交換。各支部活動等について報告。次年度以降のブロック会議開催場所について検討し、総会が大坂開催の年は各支部を巡回していくこととした。）
- 27.07.14 東北ブロック会議：於仙台市（東北ブロック長改選、眼鏡技術者国家資格推進機構・日本眼鏡士連盟の最近の動向について意見交換。啓蒙・PR活動、教育事業全般について意見交換。各支部活動等について報告。次年度以降のブロック会議開催場所について検討したが、今後とも仙台での開催としていくこととした。）
- 27.10.28 九州ブロック会議：於那覇市（眼鏡技術者国家資格推進機構・日本眼鏡士連盟の最近の動向、本部の上期事業報告及び上期決算報告、各支部活動等について報告。次年度は佐賀県で開催。）
- 27.11.18 東海ブロック会議：於鳥羽市（眼鏡技術者国家資格推進機構・日本眼鏡士連盟の最近の動向、本部の上期事業報告及び上期決算報告、各支部活動等について報告。次年度は愛知県で開催。）

- 27.12.02 北陸ブロック会議：於加賀市（眼鏡技術者国家資格推進機構・日本眼鏡士連盟の最近の動向、本部の上期事業報告及び上期決算報告、各支部活動等について報告。片岡（前）ブロック長の退任を受けて、ブロック長には西田芳夫氏が、副ブロック長には川倉敏信氏を選出。次年度は福井県で開催。）
- 28.02.10 四国ブロック会議：於松山市（眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向、各支部の活動報告、各支部の問題点、次年度の生涯教育の日程確認、また本部事務局からは支部決算処理方法について等の報告。次年度は高知県で開催。）
- 28.02.24 近畿ブロック会議：於京都市（各支部からの活動報告がなされ、また本部事務局からは決算処理日程に関するお願いなどがあった。個別のテーマとしては①眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、②財務の見地からの協会運営などを議論。）
- 28.03.16 北海道ブロック会議：於札幌市（生涯教育、実技講習会の実施内容、会員動向、仮決算報告、眼鏡技術者国家資格推進機構の動向、28年度生涯教育計画について報告。）

5-3. 組織活性化特別委員会<法人会計>

- 27.05.13 第11回組織活性化特別委員会を開催。①前年度事業の総括、②今年度開催セミナーの件、③会員用ピンタックの件、④50周年記念講演会の件、⑤SNSの利用拡大と今後の活用について、⑥ブロック会議活性化の件 などについて検討。
- 27.08.12 第12回組織活性化特別委員会を開催。①青年／女性部向けセミナー開催の件、②会員用ピンタック作成の件、③SNSの利用拡大と今後の活用について、④ブロック会議活性化の件 などについて検討。
- 27.10.21 第13回組織活性化特別委員会を開催。①青年／女性部向けセミナー開催の件、②来年度のセミナー計画について、③認定眼鏡士ピンタック作成の件、④SNSの利用拡大と今後の活用について、⑤ブロック会議活性化の件 などについて検討。
- 27.11.05 青年／女性部主催の「オシャレを考えてみましょう」講習会（講師は並木豊明先生）を開催し、計61名の参加。東京会場は11月5日に参加24名で、愛知会場は2月16日に参加17名で、大阪会場は2月17日に参加20名で開催。
- 28.03.02 第14回組織活性化特別委員会を開催。①青年／女性部向け今年度セミナー開催の総括、②来年度のセミナー計画、③認定眼鏡士ピンタック作成の件、④SNSの利用拡大と今後の活用について、⑤組織活性化の方向性 などについて検討。

6. 社会福祉関連事業<公5>

- 27.05.25 日本失明予防協会の年会費納入
- 27.08.18 厚生労働省に対して平成27年度「目の愛護デー」の協賛同意書提出
- 27.08.18 各支部長に対し、平成27年度「目の愛護デー」協賛依頼書送付
- 28.02.09 （公財）日本失明予防協会に対し、失明予防事業資金として寄付
- 28.03.25 WCO（世界オプトメトリー会議）に対し、失明予防活動助成金を寄付

7. 広報活動関連事業<公4>

- 27.04.25 会員に対しJ O Aニュース (No 1 4 7号) 送付
- 27.09.04 会員に対しJ O Aニュース (No 1 4 8号 : 創立50周年記念特集号) 送付
- 27.12.21 会員に対しJ O Aニュース (No 1 4 9号) 送付
- 28.03.30 新ホームページの一般公開開始。(27.07.23から毎月管理拡充の打ち合わせ会を実施)

8. 普及啓蒙関連事業<公4>

- 27.05.30 リーフレット視力めやす表、メガネ拭きを認定眼鏡士に配布
- 27.09.04 ミニカレンダーを認定眼鏡士に配布

9. 海外交流関連事業<公3>

- 27.05.11~05.15 I S O国際会議、上海開催、林国際部員出席
- 27.05.25 ISO 国内委員会年会費納入
- 27.05.25 WCO (世界オプトメトリー会議) 年会費納入
- 27.05.25 A P C O (アジア太平洋オプトメトリー会議) 年会費納入
- 27.08.12~08.19 WCO (世界オプトメトリー大会)、コロンビアのメデリンで開催、林国際部員出席

10. 調査研究関連事業<公3>

- 27.04.03 眼鏡技術者国家資格推進機構第11回正副代表幹事会出席
- 27.04.14 眼鏡技術者国家資格推進機構第8回幹事会出席
- 27.05.30 会員に対し、「眼鏡技術者国家資格推進機構ニュース第7号」を送付
- 27.07.17 眼鏡技術者国家資格推進機構第12回正副代表幹事会出席
- 27.09.17 眼鏡技術者国家資格推進機構第9回幹事会出席
- 27.11.12 眼鏡技術者国家資格推進機構第10回幹事会、第4回通常総会出席
- 27.12.21 会員に対し、「眼鏡技術者国家資格推進機構ニュース第8号」を送付
- 28.01.06 眼鏡技術者国家資格推進機構第13回臨時正副代表幹事会出席
- 28.03.08 眼鏡技術者国家資格推進機構第14回正副代表幹事会出席
- 28.03.31 眼鏡専門学校の調査研究事業に対して奨励金を拠出(愛知、大阪、岡山)
 - ①深視力に影響を及ぼす乱視の補正状態についての考察
(キクチ眼鏡専門学校: 中島功人氏)
 - ②私の器械近視について-各レフラクトメーター値の比較とホロプター
および省スペース型視力表の検討-
(日本眼鏡技術専門学校: 米田明日香氏)
 - ③アイポイントのばらつきについて
(ワールドオプティカルカレッジ: 青山愛実氏)

11. 関係団体関連事業<法人会計>

- 27.04.14 日本眼鏡関連団体協議会 第74回幹事会出席
- 27.07.17 日本眼鏡関連団体協議会 第75回幹事会出席
- 27.09.04 日本眼鏡関連団体協議会 第76回幹事会出席
- 27.11.12 日本眼鏡関連団体協議会 第77回幹事会、第20回通常総会出席

12. 創立50周年記念事業<法人会計>

- 27.06.17 第5回通常総会に引き続いて、創立50周年記念式典、記念講演会、祝賀会を開催。ご来賓29名を含めて総勢125人の出席。

記念講演会「人生は今日が始まり」田中真澄氏（ヒューマンスキル研究所）

27.09.04 JOA 会報第 148 号を増ページし、創立 50 周年記念特集号として発行。

13. 消費者対策事業（消費者センターからの質問に回答）＜公4＞

27.04.16 購入した老眼鏡で細かい字が見えにくい。見たいところ（文字など）とフレームが重なって見えにくい（見えない）。眼鏡店に2回ほど申し出たが解決しない。返品などは考えていないが見えるようにしてほしい。

28.02.15 遠近両用を作る際に枠無しフレームとレンズを選んで検眼し、眼鏡が出来たが遠くが見えない。1ヶ月に調整をしてもらったが、今度は老眼部が見えなくなった。眼鏡の下部分を広げてもらったが、老眼部がますます見えなくなった。そこで現在かけている眼鏡と同じ度数のものを作ってもらったが、遠くも近くも見えづらい。こういう状態で解約返金はできるか。

14. 管理部門（総務部、財務部）＜法人会計＞

27.4～28.3 会員管理（入退会、支部異動、住所・勤務先変更等）

27.4～28.3 会費管理、収入・支出の管理（財務部）

27.4～28.3 認定眼鏡士管理（新規登録・更新登録）

27.04.03 会員資格喪失者に通知書送付同時に当該支部長に通知

27.04.22 監査会（平成26年度事業報告及び収支決算について）

27.05.29 代議員に対し第5回通常総会の案内を送付。

27.06.26 内閣府に対し平成26年度事業報告・収支決算書等を提出

27.10.02 平成27年度会費未納者に対して督促状送付。

27.10.14 監査会（平成27年度上期の事業報告並びに上期決算報告）

28.01.14 平成25・26年度の2年間の会費未納者に督促状送付。

28.03.24 内閣府に対し平成28年度事業計画、収支予算書を提出。

15. 会 員 数

①前期末会員数（平成27年3月31日）	6,195名
②当期新入会員（平成27.4.1～28.3.31）	172名
③当期資格喪失者数（平成27.4.1）	278名
④当期退会者数（平成27.4.1～28.3.31）	120名
⑤当期復活者数（平成27.4.1～28.3.31）	50名
⑥当期末会員数（平成28年3月31日）	6,019名

（注記）事業報告各項目の末尾の公益事業区分の解説。

＜公1：公益事業1＞＝資格付与に関する事業

＜公2：公益事業2＞＝講座、セミナー、育成に関連する事業

＜公3：公益事業3＞＝調査、資料収集に関連する事業

＜公4：公益事業4＞＝キャンペーンに関連する事業

＜公5：公益事業5＞＝助成に関連する事業

＜法人会計＞＝組織（日本眼鏡技術者協会）を維持するための活動

以上